

月

影



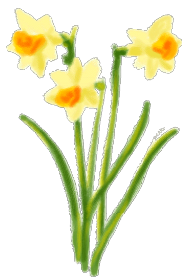
第51号

平成二十七年二月一日発行

浄土宗西山禅林寺派

常林院

不幸を  
知らない人は  
不幸である



悲しみだけの  
人生はない

喜びだけの  
人生もない

悲しみと喜びを  
知っている心に  
幸せは宿る

# 仏さま 巡礼

## 観音菩薩

正式には「かんぜおんぼ観世音菩薩」。又は「かんじざいぼ観自在菩薩」といいます。

名前のとおり、観音菩薩は、世の人々の救いを求める姿をみ観て、その声を漏らさず聴きとり、自由自在に救済してくださる菩薩様です。

### さまざまなた姿に変化

観音菩薩の特徴は、千手観音や十一面観音など、さまざまなた姿の観音菩薩がおられるこ

とです。これは救済する相手の境遇などに合わせて、さまざまなた姿に変身して自在に救済しようとしてされているからです。

### 三十三の意味

「観音経」の中に、観音菩薩が三十三の異なつた姿となつて現れ、一切の人々を救うことが説かれています。この三十三化身の数に合せて「三十三観音霊場」が作られるようになり、多くの人々から信仰されてきました。三十三番霊場、各地に作られた観音霊場にはそれぞれ御詠歌があり、巡礼者に親しまれてきました。関西では

『西国三十三所観音霊場』が有名です。

### 観音講

毎月、観音菩薩の

縁日の前日の十七日

に寺院に集まり、

御詠歌をあげる

集まりを観音講と言います。

各霊場の御歌を

鈴と鉦鈸の音色に

合わせて、独特の

節で三十三霊場を

順番にあげる『御

詠歌』は、僧侶が

読むお経とは違い、

どこか懐かしい思い

がして心が和みます。

観音講さんは、町

内の通夜や中陰、法

事にも出向かれるこ

ともあり、御詠歌で

故人を供養され、御詠歌でその家の人たちの心を癒やす存在です。

### 逢いたい人に逢える

京都の三十三間堂も、

「観音菩薩の三十三変

化身」から三十三間堂

と名付けられました。

祀られていた千体の千

手観音菩薩立像の中

には、『心から逢いた

いと願っている人に似

た観音さまがいる』と

言われています。



山門工事

彩  
寺  
記

十月から始まった山門工事は三月末に完成の予定です。皆様には、もうしばらくご不便をおかけ致しますが、ご理解のほどよろしくお願ひ致します。



基礎工事終了



基礎工事



棟上げ当日  
組み立て開始



寄進者、工事関係者の名を記した札。山門の中に収めます



棟上げ前日、本堂に運び込まれた木材



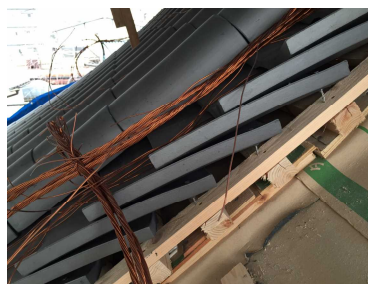
山門のまわりは <sup>ひのき</sup> 檜の香りがしています



棟が上がる



新しい墓地門



瓦が葺かれる

あむね

## 仏教用語

大和の長谷寺の開基である徳道上人によって七一年に始められたといわれています。徳道上人は病気の為亡くなりますが、閻魔大王から「地獄へ送られる者があまりにも多いから、三十三ヶ所の観音霊場をつくり、巡礼によって人々を救うように」と三十三個の宝印を授かりこの世に戻されま

さいごくさんじゅうさんしよかんのんれいじょう

### 西国三十三所観音霊場

した。上人は夢のお告げの通り近畿の寺に三十三ヶ所の霊場をつくりましたが人々は信じず、徳道上人は宝印を中山寺に埋めました。二百七十年がたち、花山法皇が熊野権現から観音霊場を再興するよう告げられ、宝印を掘り出し、那智の青岸渡寺から三十三ヶ所の霊場を巡礼されました。それ以来、西国三十三ヶ所巡りが人々に広まり盛んになったとされています。

## 雑記抄

く 神様と仏様く

時々、小学生の娘の友だちが遊びに来ます。お寺が珍しいようで、皆、興味津々で本堂の様子を見ていきます▼中には、神社と間違えているのか、「神様にお願いしよう。」と言って、本堂の阿弥陀さまにお願いをしていく子もいます▼神社は神様、お寺は仏様。私たちはどう頑張っても神様にはなれませんが、仏様にはなることができます▼やさしい人のことをへ生き仏のよう

な人」と言います。ま

た、亡くなることをへ仏になる」と言い、故人のことをへ仏さん」と言います▼へ仏も昔は人なりき我らも終には仏なり（梁塵秘抄）へ悩み苦しみを抱きながら日々暮らしている私たち。少しでも仏さまのように穏やかでやさしく、煩惱に振り回されず、他人の喜びが自分の喜びになり、他人の悲しみが自分の悲しみと思えるように、日々努力をすることが、私たち仏教徒が目指す姿です。

